

2012-2013年度 少年少女ニコニコキャンプ報告

青少年活動委員会 委員長
植田 昌克 (大阪北RC)

2012～2013年度少年少女ニコニコキャンプは、「生駒の夏。最高の夏。作ろうでっかい思い出」をテーマに、ホストの大阪中央RCの皆さん、大阪中央RACを中心とするローターアクトの皆さん、そしてチームライラの皆さんの総力のもと、8月3日から5日まで生駒山麓公園で2泊3日のプログラムが実施されました。

参加した70名の小学4年生から6年生の児童は、JR大阪駅に集合した後、バスで生駒山麓公園へと向かいました。「3日間、初めて会うお友達と仲良くできるかな、野外活動の多いプログラムについていけるかな」など、開校式での多くの児童は不安を隠せず、どこか落ち着きがありませんでした。

少年少女ニコニコキャンプは児童が共同生活を通して自然に対する畏敬の念を持ち、団結の大切さと奉仕の精神を体験しながら学ぶことを目的としています。また、ローターアクトのリーダーシップ研修の場でもあります。各班のリーダーを務めたローターアクトも、開校式では児童を見守り導くことの重責に押し潰されそうな様子でした。



それが、わずか2日後の修了式では児童、ローターアクト共に満面の笑みで、疲労の中にも充実感、達成感に満たされた様子で、本事業の意義、重要性を再認識しました。

1日目は、10班の児童がそれぞれ班旗を作成した後、夕食のカレー作りです。リーダーのもと役割分担をして慣れない包丁で具を刻み、班ごとにかまどに乗せたお鍋で煮込みました。皆で協力して作ったカレーの味は野外で食べると格別で、児童たちも緊張がほぐれました。

2日目の午前はフィールドアスレチックです。難易度の高いアスレチックとして知られ、30種類のアトラクションから19個を選定して、それぞれにロータリアンが緊急時対応のために待機しました。班ごとにローターアクトが誘導して出発です。大自然の中でお互いに助け合いながらチャレンジし、見事に全員クリアしました。

午後は班ごとにテント設営です。苦戦しながらも皆が組み立て成功。夕食のBBQは、ロータリアンも全員参加。美味しいお肉に舌鼓を打ちました。夜はキャンプファイヤーで楽しみました。

3日目は眠い目をこすりながら朝から皆でテント解体。朝食の後は木工工作。空いた時間はリーダーも一緒になって元気よく走り回りました。

このキャンプを通して、児童の皆さんはきっとたくさんの思い出ができたことと思います。綿密なプログラムの立案と細部に渡る準備、運営でご苦労いただいた大阪中央RC、RAC、チームライラの皆さまに心より感謝申し上げます。報告といたします。ありがとうございました。